

2. 支援財団の活動紹介

(1) 大学院大学支援事業

令和3年度大学院大学支援事業

令和3年度は、総額34,500千円の支援を行います。

① 教育研究活動に対する支援

●「研究テーマ助成」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11件 17,000千円

氏名	所属・職名	研究テーマ
清川 拓哉	情報科学領域 ロボティクス研究室・特任助教	迅速に再構築可能な組立ロボットシステムの構成法
白川 一	バイオサイエンス領域 花発生分子遺伝学研究室・助教	低温と低分子化合物によるヒストン脱メチル化酵素の 発現制御とその応用
久保田 茜	バイオサイエンス領域 植物生理学研究室・助教	開花制御をモデルとした温度と光の環境シグナル統合基盤の解明
西村 明	バイオサイエンス領域 ストレス微生物科学研究室・助教	発酵環境におけるプロリン資化抑制の理解とその応用展開
水野 斎	物質創成科学領域 量子物性科学研究室・助教	(チオフェン/フェニレン)コオリゴマーナノ結晶の 光学特性に対するサイズ効果発現メカニズムの解明
春田 牧人	物質創成科学領域 光機能素子科学研究室・助教	ポータブルIoTデバイスによる経時的植物細胞観察技術の開発
石橋 陽一	先端科学技術研究科 知能コミュニケーション研究室・博士後期課程2年	埋め込み空間上の写像による意味操作とデータ拡張への応用
示野 誠也	先端科学技術研究科 ストレス微生物科学研究室・博士後期課程3年	酵母における翻訳後修飾を介した一酸化窒素の 生理的役割の解明
TANG TAO	先端科学技術研究科 生体プロセス工学研究室・博士後期課程2年	Femtosecond laser-induced response wave measuring method for single cell characterization
東 裕亮	先端科学技術研究科 光反応分子科学研究室・博士後期課程1年	入手容易なフルオロアルカンからの第2級フルオロアルキル基の 新規導入法の開発
加納 春華	先端科学技術研究科 機能有機化学研究室・博士後期課程1年	新規球状 π 共役分子の有機合成研究

●「新任教授スタートアップ支援」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5件 7,500千円

氏名	所属・職名	研究テーマ
和田 隆広	情報科学領域・教授	操縦型ロボットにおける操作快適性の研究
吉田 聡子	バイオサイエンス領域・教授	ハマウツボ科寄生植物における寄生と共生の進化
藤井 幹也	物質創成科学領域・教授	異種データ統合による材料特性予測および新材料探索
作村 諭一	データ駆動型サイエンス創造センター・ 教授	血糖制御のマルチフィジクストランスオミックス解析
加藤 晃	デジタルグリーンイノベーションセンター・ 教授	植物へ導入した遺伝子を高発現させるための基盤技術開発

●社会人ドクター修学支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2,000千円

